



## 令和6年春の小牧基地交通安全運動



小牧基地は4月6日(土)から15日(月)の間、「令和6年春の小牧基地交通安全運動」を実施しました。今回は昇任試験と同じ週だったため、規模を例年の半分にして実施しました。

今回は内閣府重点項目の一つに「安全な横断方法の実践」があります。そこで愛知県防災安全局県民安全課の「交差点事故防止出張講座」の講師をお迎えしました。「歩行環境シミュレータ」を使って夜間や交通量の多い交差点等、様々なシチュエーションの道路横断を体験することができたと思います。講師の方から、隊員のみなさんは視野が広くて、反射神経がいいので、シミュレータで事故を起こす人が誰もいなかったとの感想を頂きました。他の団体でシミュレータをすることは出来ないそうです。今回のシミュレータの経験をいかして交差点の事故には十分気をつけてください。

第1交通機動隊の自転車実技講習においては、自転車用ヘルメットの正しい装着要領の指導があり、衝突の際に不適切な装着の場合にはヘルメットが頭部から外れる様子の実演もありました。

また、自動二輪車実技講習では、通常の運転技術だけでなく、原付、スポーツ、アメリカンなど様々な種類のバイクの特性や、日常のバイクの点検の仕方、バイク用のエアバッグの紹介など知識面でもご教授して頂きました。今回得た知識を豊かなバイクライフになるよう活かしてほしいと思います。

忙しいなか交通安全運動にご協力いただきありがとうございます。これからも安全班は様々な安全啓発活動に取り組んでいくのでご協力よろしくお願いします。今日も一日ご安全に！



## 支援集団准曹士先任及び米空軍横田基地の各先任を迎えて



4月16日(火)17日(水)、航空支援集団准曹士先任の小牧基地部隊訪問に横田基地の米空軍各先任方が同行して小牧基地内を研修することとなりその対応を行いました。

米空軍の先任を迎えるのは初めてのことで戸惑うことも多かったですが、何よりも英語の素養がない私には言葉の壁が一番大きかったです。しかし、2名の通訳要員(楠橋士長(1輸空整備群整備隊)と森内士長(同じく修理隊))が支援してくれたおかげで全ての計画を予定通りに進めることができました。

小牧基地では支援集団隷下部隊の見学(K/C-130H、KC-767、警備犬訓練、管制隊、気象隊の各職場、機動衛生ユニット)の他、隊員との懇談を行いました。

隊員懇談は初めこそぎこちなかったですが、身近な疑問(米空軍と航空自衛隊との違い)などについての質問がでると、次々と質問する隊員がでて予定時間を超えるほど盛況でした。

ここでの質問内容の一部を紹介します。

Q1: 体力測定はありますか?

A: あります。既定の基準をクリアしないと除隊となります。

Q2: 女性の比率はどれくらいですか?

A: 35~40%です。

Q3: 先任はどんな業務をしていますか?

A: 若年隊員の意見を指揮官へ届ける。各種ミーティングが多いです。

意識としては次の世代を育てること。航空自衛隊との違いはありますが、先任の業務としては全く同じだと感じました。



今回の米空軍先任方の受け入れに際して、各准曹士先任方の協力のおかげで短期間の調整にもかかわらずスムーズに行うことができました。

調整内容としては、車両、ドライバー、会食場の使用・支援要員、航空機見学の航空機、航空機説明要員、先任との懇談参加者など種々の調整を行うことで受け入れの体制が整いました。

2日間の研修中の昼食は隊員食堂にて会食を行いました。米空軍の先任方の感想は小牧基地の隊員食堂での食事はとてもおいしくて昼食代430円はとてもリーズナブルと感心していました。米軍の基地でも営外者は有料となるそうですが、日本円に換算すると昼食で1,000円を超えるとの事です。ちなみに、小牧基地で米空軍の方が食事を摂る際は有料となり、この日も現金で人数分徴収し会計隊にお支払いしました。

今回の研修全般を統制させていただきましたが、事前準備の各種調整から当日計画通りに研修を進めるにあたり、送迎車両が予定時間にきているか、会食準備はできているか、次の研修先の準備はできているか、計画よりも時間が早く進む又は遅くなる時の次の研修先への連絡など多くの調整、確認が絶えず発生し2日間がたくたになりました。このような調整を監理部は各種行事や視察者が来るたびに行っていると思うと本当に頭が下がる思いです。監理部の皆さん、その他支援頂いた部隊の皆さんいつもありがとうございます。

1輸空隊准曹士先任



今回の小牧基地来訪者

・支援集団からは以下の2名

支援集団准曹士先任

支援集団准曹士先任付

・米空軍横田基地に所在する各部隊から以下の5名

第5空軍最先任上級曹長

374空輸航空団最先任上級曹長

374整備群先任上級曹長兼

第5空軍最先任上級曹長付兼通訳

第5空軍A4二国間下士官交流事業計画長

准空尉 衣笠 真紀夫

1等空曹 市坪 彦樹

上級曹長/CMSgt ショーン・アイエロ

上級曹長/CMSgt ジェリー・ダン

上級曹長/CMSgt リチャード・リングル

1等軍曹/MSgt 夏菜子・フロム

1等軍曹/MSgt トーマス・ラーソン